

PZ-3(three)

進捗状況

2005年11月7日

 **日本ゼオン株式会社**

代表取締役社長 古河 直純

◆ PZ-3 のコンセプト

PZ-3

2005年 ~ 2007年

- ・飛躍の実現
- ・企業価値向上

- ・積極的投資
- ・生産革新
- ・CSR重視
- ・研究開発強化

**PZ-3は、2010年の環境を見据え、
通過点である2007年の目標を定めた**

◆ PZ-3 の基本方針

『社会の公器 (CSR) 』を再認識し、
社会から信頼され、社員も誇りに思える会社
づくりを「スピード」「対話」「社会貢献」を
もって追求する

経営戦略と研究戦略を一致させ、
ひとのまねをしない、ひとがまねをできない
世界一の独創的技術で新事業を創造し、
継続的に発展・拡大させる

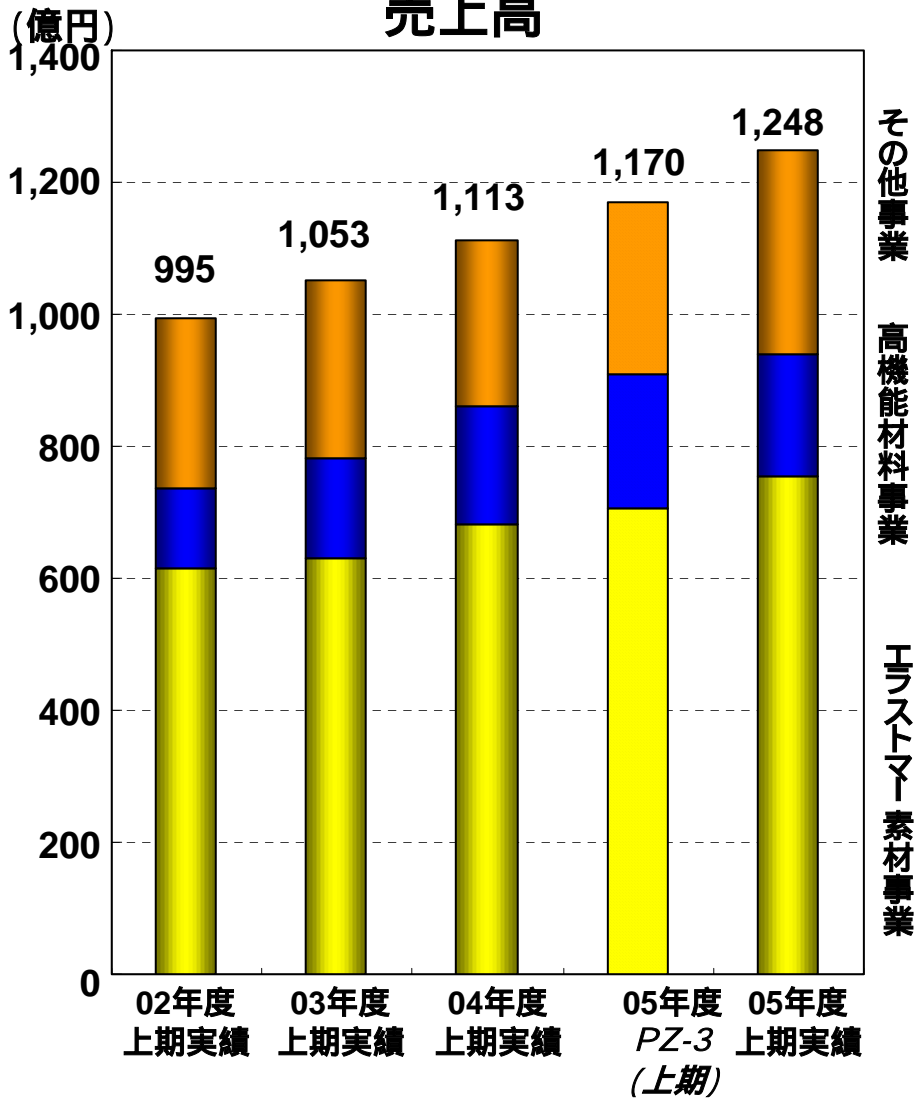
◆ PZ-3 業績目標（連結）

	2004年度 実績	2005年度 PZ-3 計画	2005年度 上期実績
売上高	2,314億円	2,415億円	1,247億円
営業利益	193億円	230億円	128億円
高機能材料事業 営業利益構成比	45%	49%	34%
ROE	10.5%	13.0%	17.9%

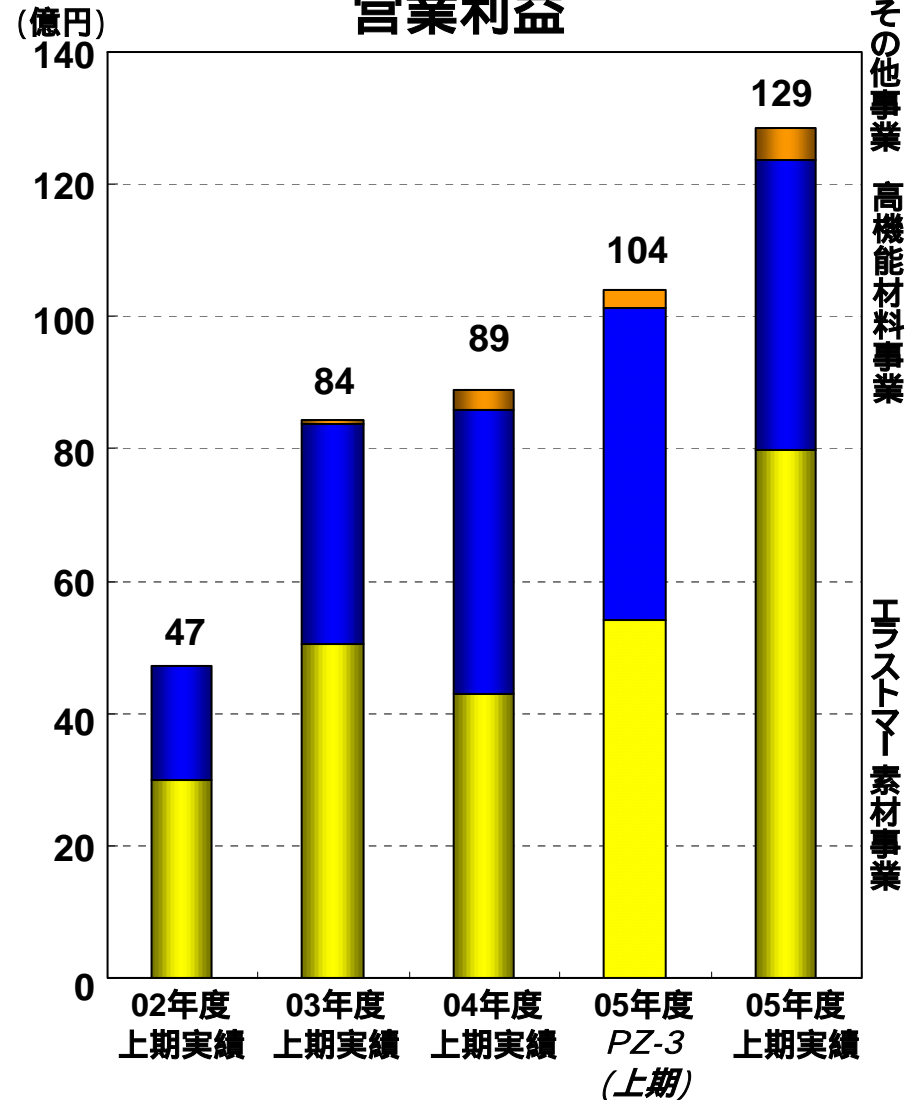
2007年度 PZ-3 計画
2,700億円
330億円
55%
16%

◆ セグメント別の状況 (連結・上期)

売上高



営業利益





エラストマー素材事業



自動車用部品



タイヤ

C⁴留分 GPB } 『世界一の抽出技術』
C⁵留分 GPI }



トラフィックペイント



工業用手袋

PZ-3 達成のための重要施策

生産革新

工程安定化の徹底
歩留まり100%の追求

世界一の品質

世界一のコスト

グローバル供給体制の最適化

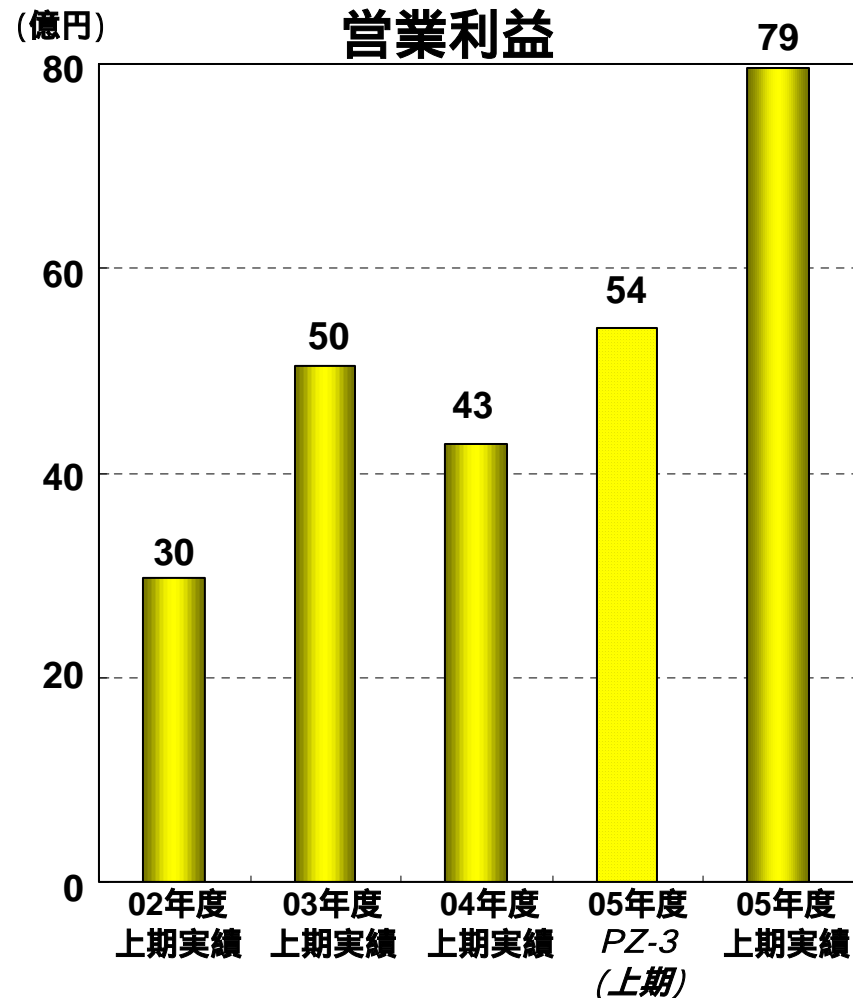
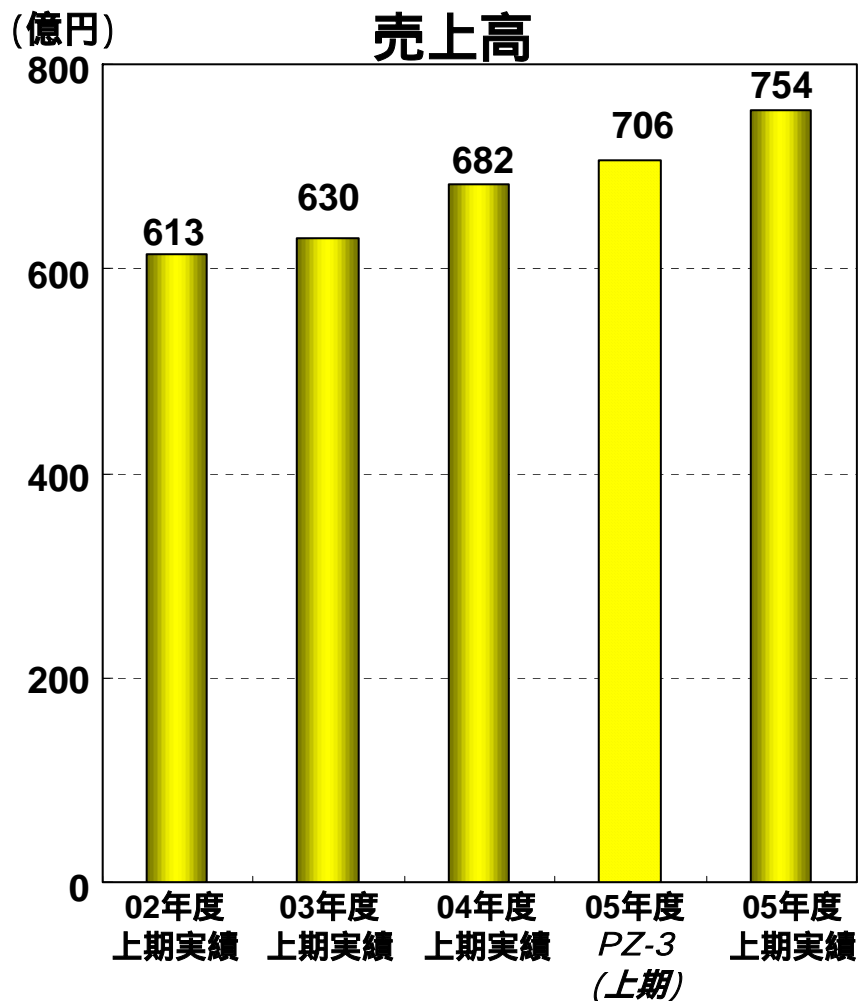
最適地生産

グローバルでの最適化
品名包装仕様合理化

特殊化

高付加価値新用途の開発
生産設備転換・合理化

◆ PZ-3: エラストマー素材事業 (上期)



2005年度業績目標

売上高: 1,531億円

営業利益: 116億円

高機能材料事業



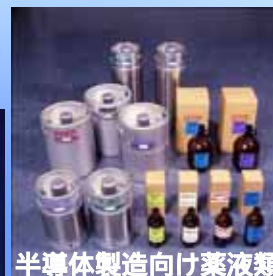
DVDプレイヤー



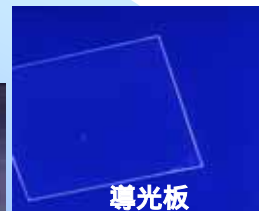
ディスク



ゼオノアフィルム®



半導体製造向け薬液類



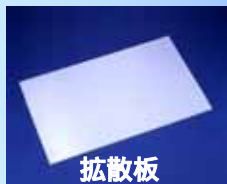
導光板



携帯電話



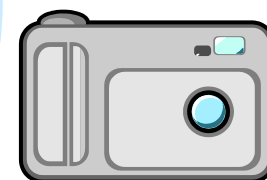
液晶テレビ



拡散板



レンズ



デジタルカメラ



レーザービーム
プリンター



プリズム & レンズ



香水

PZ-3 達成のための重要施策

顧客密着

開発ロードマップの共有
提案型営業・開発

狙いの
『5つの分野』
に注力

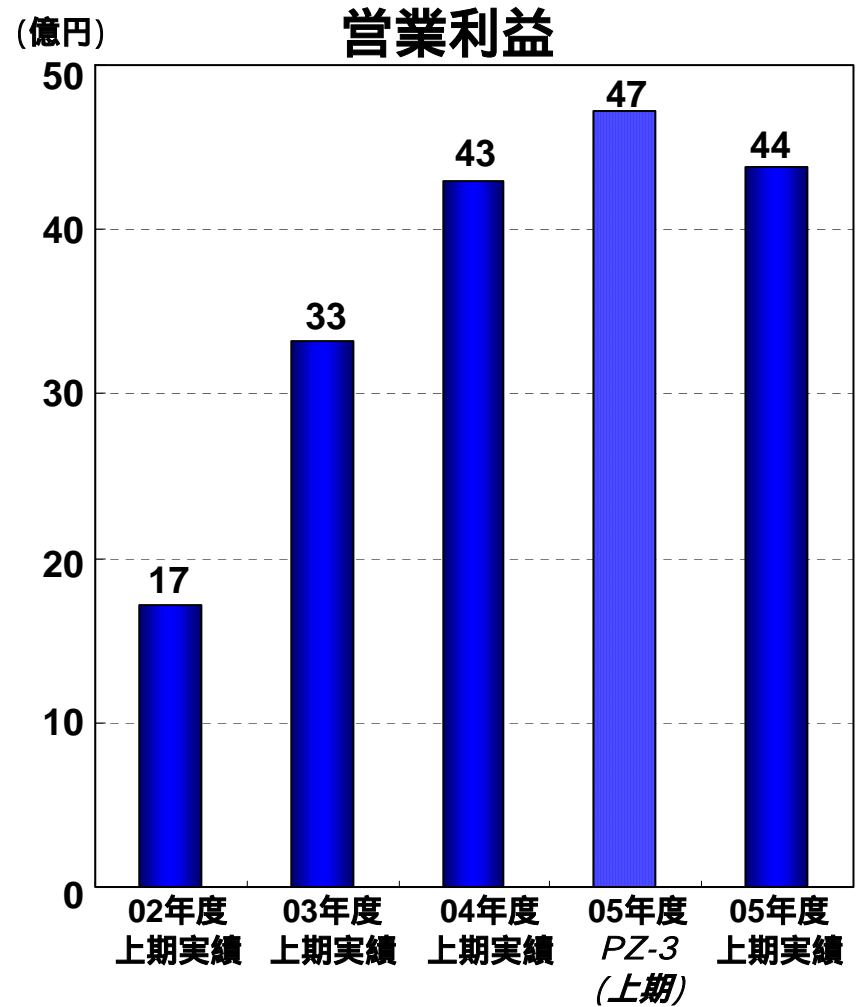
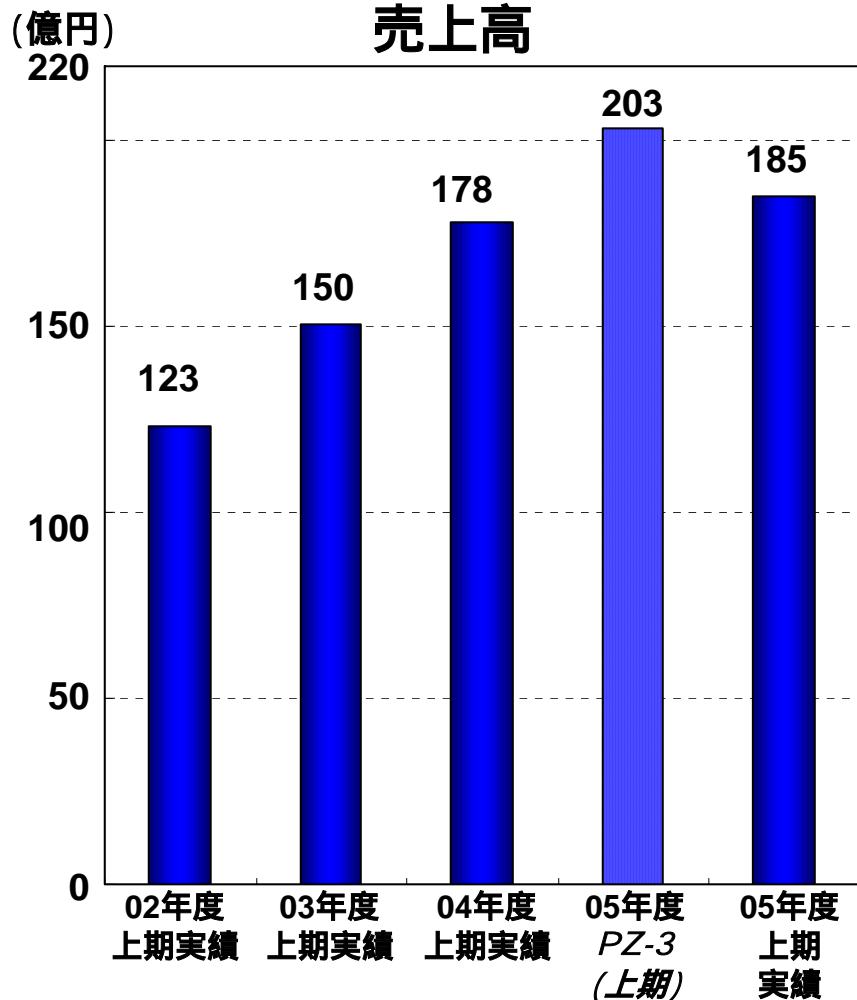
デファクト化

オンリーワン製品の供給体制確立
生産設備への重点投資

新製品連続上市

テクノロジー・プラットフォーム強化
研究人員の重点配置

PZ-3: 高機能材料事業 (上期)



2005年度業績目標

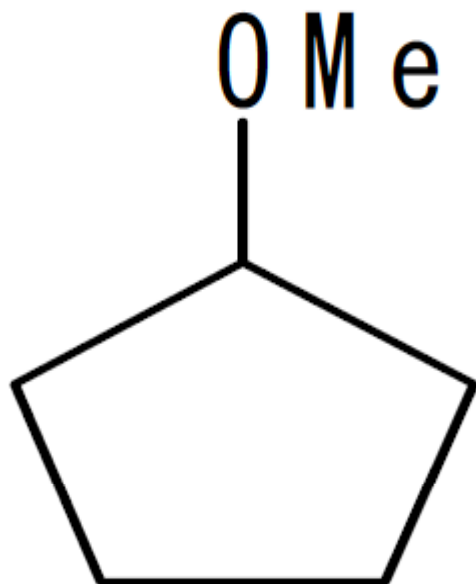
売上高: 430億円

営業利益: 104億円

◆ エーテル系新溶剤 CPME

シクロペンチルメチルエーテル(CPME)

主な特長



1. 水への溶解性が低い
2. 高沸点、低融点
3. 蒸発潜熱が低い
4. 過酸化物が生成しにくい
5. 爆発範囲が狭い
6. 酸に対して安定

◆ ゼオノアフィルム®生産能力前倒し増強

1. 増設生産能力 原反設備 4,000万㎡ / 年
2. 新ゼオノアフィルム®(延伸フィルム) 3,000万㎡ / 年

順次増強を進めており、一部はすでに稼動中

3. 設置場所 (株)オプテス 高岡工場
4. 投資額 約70億円
5. 完工予定 2006年10月

今回の能力増強は、新ゼオノアフィルムが大型液晶テレビに急速に採用が拡大している事を受け、当初2007年度の予定を前倒しで実施



機能別基本戦略

研究開発戦略

生産戦略

財務戦略

投資戦略

CSR戦略

◆ 研究開発戦略

1. 経営戦略と研究開発戦略の一体化

社長ヒアリング(毎月)

【3パターンの研究開発テーマ】

依頼試験型

トライアングルネットワークの活用

ロードマップ型

ユーザーとの密接な関係

提案型

独創的技術による市場創出

ヒットSBUで事業化促進

スピード

対話

新製品連続上市

社会貢献

2. 研究開発速度のスピードアップと成功確率の向上

24時間体制での開発

産官学協業

シミュレーション活用

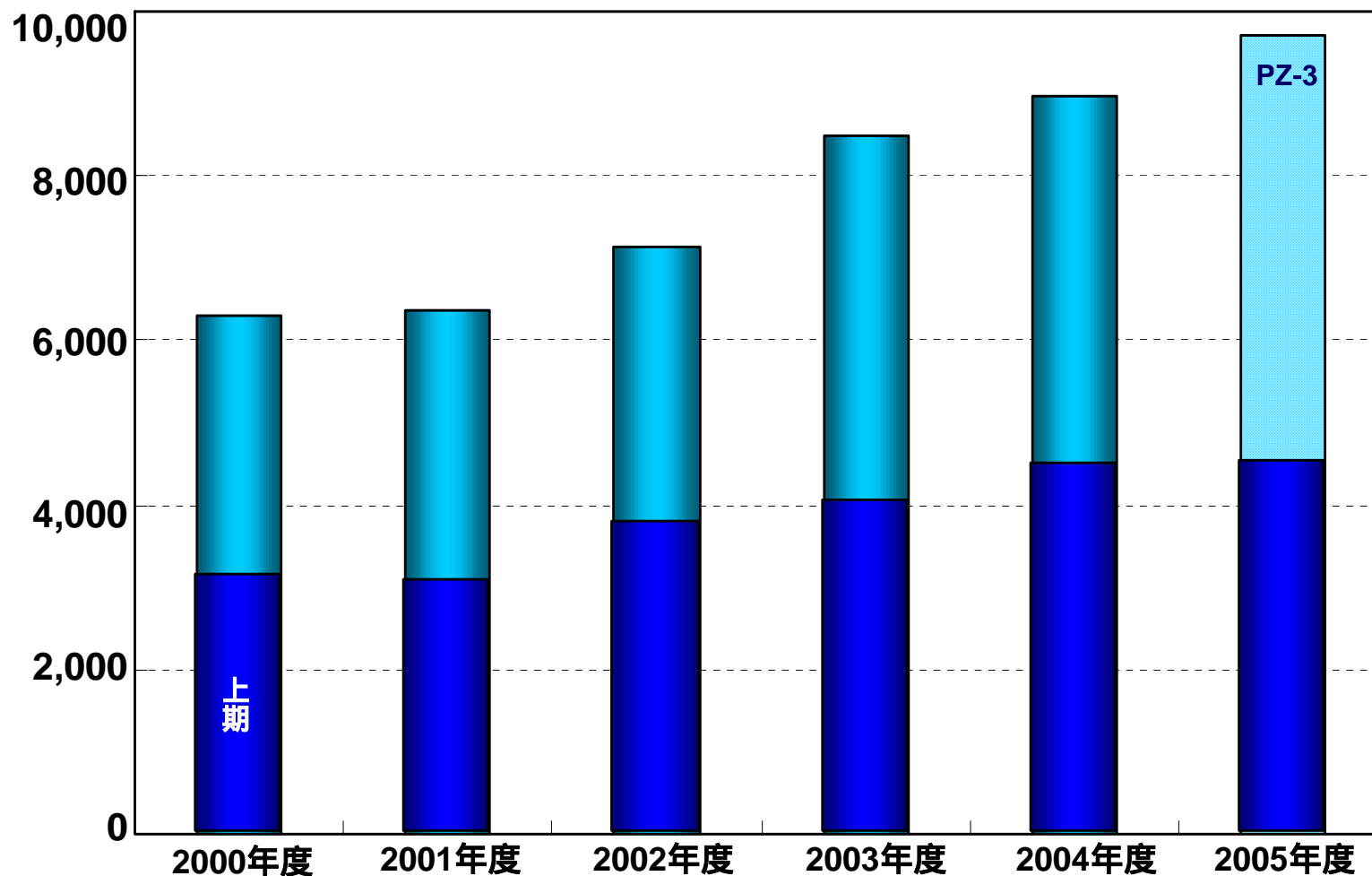
3. テクノロジープラットフォームの戦略的強化



研究開発費推移

高機能材料事業への重点配分による増額

(百万円)



生産戦略

生産革新による安全・安定生産の徹底追及

徹底した工程安定化の追求
ミスを起こしようがない、ミスがケガに繋がらない設備への投資
工場活性化諸施策の実行
品名包装統廃合の推進



高度制御の実現を目指して

グループの力を結集したコストダウンの実践

目標額：

2005年～2007年累計 120億円

05上期前年同期比コストダウン額 約13億円

地域との共生

社会からの信頼

財務戦略

企業価値の安定的拡大を図る強固な財務体質を確立する

営業キャッシュフロー

05年度上期実績:
110億円

(2005年度～2007年度)

PZ-3計画:
800億円以上

	05年度 上期実績	PZ-3 計画
当期利益	73億円	400億円
減価償却費	62億円	420億円
運転資金増減	-25億円	-20億円

投資

05年度上期実績:
93億円

PZ-3計画:
650億円以上

05年度上期
配当:**10億円**
自己株購入
戦略的資金

投資

2010年を見据えた新事業
拡大への戦略的投資を
積極的に行う

配当政策

株主に対して安定的な
配当を継続する

戦略的資金

M & A等への機敏な対応を
行う

投資戦略

2010年を見据えた新事業拡大への戦略的投資

5つの分野

表示(フラットパネルディスプレイ)
コンピュータ(半導体)
記録(DVDなどのストレージ)
通信(光ファイバー、絶縁材料)
エネルギー(電池材料)

投資総額

PZ-3

650億円

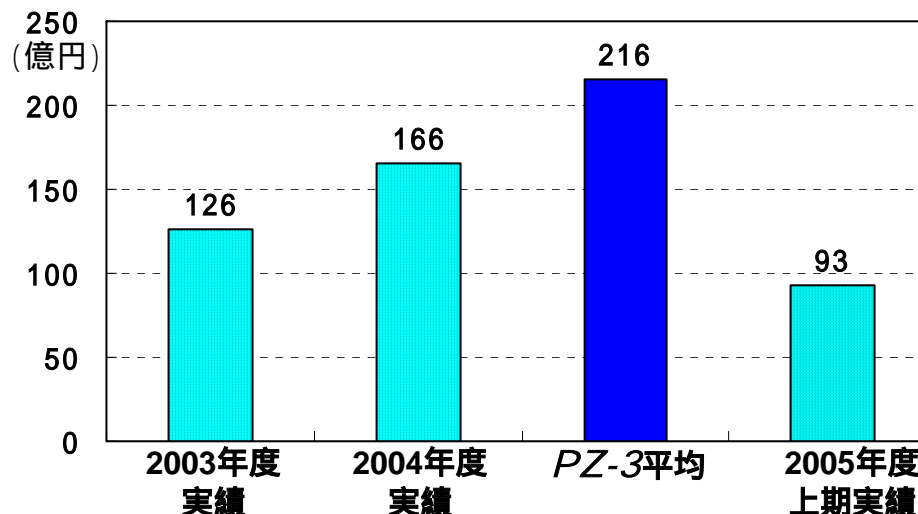
05年度上期実績:

93億円

現場力強化のための投資

修繕費、環境安全投資の拡充
安全・工程安定化のための投資
高度制御実現のための投資(自動化、FP化)

【設備投資額推移】



社会から信頼され、社員もゼオンに働く誇りを感じる会社

コンプライアンス体制の強化

- ・コンプライアンス教育の充実
- ・リスク予防体制の整備

安全な工場の実現

- ・自主保安認定の再取得
- ・環境安全投資の実施
- ・工場活性化策の実施

地域社会との共生

- ・地域社会との積極交流
- ・地方紙へのメッセージ
広告掲載

会社は『社会の公器』

◆ CSR戦略 - 新聞広告掲載例 -

徳山工場40周年の広告

これまで、
これからも、
地域と共に。

おかげさまで40周年
日本ゼオン 徳山工場

1965年10月、
風光明媚な瀬戸内海を臨み
秀麗な山々を仰ぐ山口県徳山の地において、
汎用合成ゴムの主力工場として
操業を開始した、日本ゼオン徳山工場。
以来40年、私たちは自動車産業を支える
合成ゴムの生産拠点として、
世界に誇れる工場に成長いたしました。
また、新しい時代の変化をいち早くキャッチし、
1995年には重合法トナーを生産するなど、
日本の産業界の発展と共に
着実な歩みを重ねています。
「大地から原料を得て永遠に栄える」の思いを
込め、大地(ゼオ=Geo)と永遠(エオン=Eon)から
なる社名を持つ、日本ゼオン。
これからも私たちは、
ゼオンの名にふさわしい大地に対する
「ありがとうの技術」により、
地域との共生や地球環境の
保護、安全への取り組みに力を注ぎ、
地域とともに発展を図っていきます。
これからの私たちにご注目ください。

独創的技術で、社会貢献。

ゼオン

日本ゼオン株式会社 www.zeon.co.jp

徳山工場：〒745-0023 山口県周南市部智町2-1
本社：〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2

◆ CSR戦略 - 元気がでる工場づくり -

事業所独自の推進運動や職場環境づくり



風力発電設備完成(05/8)



きれいになった徳山工場
(山陽新幹線車窓より)



路上ゴミゼロキャンペーンを実施




ホッパー塗装完了
夜間はライトアップを実施



地域のみなさんを招待して
夏まつり開催





スピード

対 話

社会貢献

注意事項

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501